

花と緑の銀行だより

210号 2019.1



頭取・グリーンキーパー ステップアップ研修 実習花壇 H30.10.18

目次

- ・花と緑の提言 新年のごあいさつ（魚津支店） 2
- ・活動事例 舟橋村の緑化推進活動について（舟橋支店） 3
- ・緑づくりコーナー 庭木に利用する樹種の特徴と管理 ツバキ類（樹木医 西村正史） 4
- ・ステップアップ研修報告（氷見支店 藪田地方銀行 寺井悦子） 5
- ・「全国花のまちづくりコンクール」で入賞 6
- ・この人あり 五ヶみち花壇と共に（砺波支店 種田地方銀行 倉田伸子） 7
- ・報告・お知らせコーナー 1月～3月の主なイベントなど 7



新年のごあいさつ

花と緑の銀行 魚津支店長
魚津市長 村 椿 晃

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、平成31年の新春を健やかに迎えの
ことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より、花と緑の推進に多大なるご支援
とご協力をいただいておりますことに、心より感謝申
し上げます。

さて、魚津市では、一昨年の5月に第68回全国
植樹祭が天皇皇后両陛下のご臨席のもと、魚津桃
山運動公園を式典会場として開催されました。当日
は県内外から大勢の方にご来市いただき、大いに賑
わいました。

花と緑の銀行の皆様は、お野立所やお手植え・
お手播き所、会場全体の飾花事業を統括されまし
た。会場内が様々な草花による飾花で彩られ、温
かみのある大会となりました。また、各支店の皆様は、
会場内の沿道などに設置する飾花プランターの製作
に協力され、当日は会場全体から県民のおもてなし
の心が伝わってまいりました。

魚津市といたしましても、植樹祭を盛り上げるべく、
上記の取り組みへの参加はもちろんのこと、花と緑
の銀行魚津支店の皆様の協力をいただいて会場内
のフラワーアートや会場外の沿道飾花プランターの
設置を独自事業として実施させていただきました。

会場内フラワーアートは、魚津市民に親しまれてい
る僧ヶ岳の雪絵とその山並みから市内に流れる川を
様々な植物を配置して表現したもので、全国の皆様
に魚津市をPRできたものと感じるとともに、この植
樹祭開催に向けての取り組みに市民が参加すること
により、魚津市の緑化活動への機運の高まりを感じ
たところです。



写真1 全国植樹祭会場内 フラワーアート
上段：僧ヶ岳雪絵 下段：川の流れ

また、植樹祭開催の前年に、魚津の伝統行事で
ある「魚津のタテモン行事」がユネスコ無形文化遺

産に登録されました。「たてもん」は車輪の無いソリ
のような形をした台に高さ約15mもある大柱を立て
90余りの提灯を吊り下げた船形の万燈で、毎年8
月に諏訪神社にて威勢よく曳きまわされる祭りです。
たてもんの部材には杉などの木材が使われています。

魚津市では、この「魚津のタテモン行事」と「全
国植樹祭」を契機に、海と山をつなぐ文化を育て、
市民の郷土愛を育みながら、森と海に恵まれた豊か
な自然環境を引き継ぐ市民意識の醸成を図ることを
目的として、将来の「たてもん」の部材となる木々を
市民とともに育てていく「たてもんの森」プロジェク
ト事業を実施しています。

平成29年10月には「たてもんの森」プロジェクト
植樹祭を開催し、市内小学生の親子約100名が参加
して、杉、ヒノキ、ケヤキの苗木240本を植樹しまし
た。そして昨年10月には2回目の植樹祭を開催し、今年
で植樹を完了する予定です。その後も「たてもんの森」
の整備、育林、見守りなどを通じて、自然と文化を
未来へ継承する取り組みを行っていきたいと考えてい
ます。



写真2 「たてもんの森」プロジェクト植樹祭での植樹

このような市の取組みに併せ、花と緑の銀行魚津
支店では、頭取、グリーンキーパー86名の皆さんが、
地元の公園や花壇の管理を行っています。地方銀行
毎に地域と連携しながら計画を立て植栽管理に取り
組んでおり、身近な地域の緑化活動を支援しています。
また、市内外から訪れる方をおもてなしするため、あ
いの風とやま鉄道魚津駅前と魚津桃山運動公園にフ
ラワーポットを設置し、魚津市を訪れる方々の心を
癒す場所づくりも行っています。

今後とも、市と花と緑の銀行が一体となって、魚
津市全体の緑化活動を推進していきたい所存であり
ますので、頭取、グリーンキーパーの皆様方には引
き続き地域の緑化活動へのご協力をお願い申し上げ
ます。

終わりに、皆様方のご健勝ご多幸を心からお祈り
申し上げまして、新年のごあいさつといたします。

舟橋村の緑化推進活動について

花と緑の銀行 舟橋支店

舟橋村は、富山県のほぼ中央に位置し、富山市、立山町、上市町に隣接しています。東西・南北それぞれ約2kmと非常にコンパクトな村域であり、面積は3.47km²と日本一面積の小さい自治体として知られています。一級河川常願寺川の右岸に位置し、村内には二級河川の細川や京坪川、八幡川が流れるなど、水に恵まれ、地形は全域が平野や平地となっています。この豊かな自然と地理的環境を活かして整備された田園と、雄大な立山連峰を望む景観は四季おりおりの趣ある風情を醸し出しています。また、富山市中心部へは電車で13分、車で20分、国道8号線及び北陸自動車道立山ICへそれぞれ5分でアクセスできる地理的条件が本村の強みとなっています。昭和46年に富山・高岡広域都市計画区域の指定を受け、昭和63年には富山・高岡広域都市計画区域から除外され、新たに立山・舟橋都市計画区域に指定されました。平成に入り、人口が倍増し現在では3,100人を越えています。

こういった状況の下、花と緑の銀行舟橋支店舟橋地方銀行が主体となり、数々の緑化事業を推進しています。代表的な事業として、舟橋駅周辺の緑化推進事業があります。舟橋駅は、富山地方鉄道越中舟橋駅と舟橋村立図書館が一体となった文化複合施設として、全国的にも注目されています。また、駅舎の南にはパークアンドライド方式による駐車場が整備されており、毎朝、村内外から多くの方に利用されています。このように、村の表玄関となっている舟橋駅前や駅のホームを、花と緑で美しく整備し多くの方に快適に利用していただくため、プランターを設置しています。頭取及び3名のグリーンキーパーが主体となり、花苗や球根等の植栽を行っています。



写真1 舟橋駅ホームの花飾り

舟橋花と緑の少年団は、定期的に週1回、駅前から役場、小中学校を通る、県道立山舟橋線沿いに整備された花壇の水やり、施肥等の作業を中心に活動を展開しています。季節ごとに花を植え替えており、冬期間以外は学校前が綺麗な花に彩られています。また、村内の公園の一つでは、子どもたちがメダカを探す取り組みの最中に、絶滅のおそれのある「トミヨ」が発見されました。そのトミヨを保護するために、公園脇の用水路の清掃活動を行い、よりトミヨが生息しやすい環境を維持するとともに、公園の整備として、子どもたち

自らの発案で、公園内に花壇を設置して欲しいと村に要望があったことから、整備を行い、普段の維持管理は子ども達が行っています。舟橋村は転入者で人口が増加してきたところですが、現在の子供達のはほとんどは、舟橋村で生まれ育っていることから、このような体験を通じて故郷である村への愛着を形成することが重要であることから、今後も少年団活動には力を入れていきたいと考えています。



写真2 舟橋花と緑の少年団 左：学校前花壇植付 右：公園花壇植付

また、この度、富山県で開催された「ねんりんピック富山」では、囲碁の会場となった舟橋会館前にプランターを設置し、全国から集まった選手達をもてなしました。

先にも述べたとおり、舟橋村は近年、人口・世帯数ともに増加し、それに伴い住民ニーズも多様化しています。その中で、京坪川河川公園（愛称：オレンジパークふなはし）の拡張部分では、公園を管理している造園業者が「園むすびプロジェクト」というプロジェクトを立ち上げ、子ども達が自らで企画したイベントを実施し、公園への愛着を形成し活用される公園づくりに取り組んでいます。その功績が認められ、平成30年10月には都市公園コンクールにおいて、最高賞の国土交通大臣賞を受賞したところです。

新たな試みをしながら、より良い緑化事業の推進について今まで以上に協議し、運営していきたいと考えています。



写真4 「園むすびプロジェクト」造園体験

庭木に利用する樹種の特徴と管理

～ ツバキ類 ～

日本樹木医学会富山県支部
樹木医 西村 正史

花の少ない冬に花を咲かせる花木にツバキ類がありますが、庭木として利用されているツバキ類のほとんどは園芸品種です。これらは、ヤブツバキやユキツバキなどから育成されたものです。

今回は、ヤブツバキとユキツバキの特性とツバキ類の管理について紹介します。

1 特性

ヤブツバキは東北以西の暖地に生育し、高木となります。本県では標高100m以下の海岸地域のスダジイ林やタブ林内に生育し、氷見地域で多く見られます。花は2月から4月にかけて咲きます。写真1は県指定の天然記念物に指定されていたヤブツバキ、「長坂不動の大つばき」です。残念ながら平成26年（2014年）に枯損しました。

ユキツバキは北陸から東北地方の日本海側にそれぞれ分布しています。本県では標高300m以上のブナ林内に生育しています。高さは低く1～3m程度で根元から多く枝分かれした株立状になり（写真2）、しかも積雪のため枝は這うことが多く、地表に接した枝は発根し独立の個体となります。花は、3月上旬から4月中旬にかけてです。

両者にはいくつかの点で違いがあります（写真3）。ヤブツバキの花弁は半開ですが、ユキツバキの花弁は全開です。ヤブツバキの葉脈は不鮮明ですが、ユキツバキの葉脈ははっきりみえます。

なお、本県の標高100～300mにかけての地域には両種の雑種と考えられているユキバタツバキが生育しています。

2 管理

日陰に非常に強い花木なので、日当たりを気にする必要はありません。半日陰ほどの明るさが適しています。日当たりが良すぎると乾燥して枯れてしまうので、注意してください。

植える場所は普通の庭なら十分育ちますが、水はけがよく弱酸性の土であれば、生育はさらに良好です。植えてから元気になるまでの2年間程度は、土の表面が乾いたらたっぷり水を与えます。

ツバキ類にはチャドクガ、カイガラムシ、すす病などの病虫害が発生します。これらの対策は本誌（194号2015.1-5 p）に載っていますので、参考にしてください。



写真2 富山市の天然記念物に指定されている富山市山田今山田のユキツバキ。右上：株立状態の多数の株（2018.12.2）



写真1 氷見市長坂馬場出の「長坂不動の大つばき」
（2010.11.6）



写真3 ヤブツバキ（左）とユキツバキ（右）の花と葉の違い
（左上：2012.4.12、その他：2010.3.28）



ステップアップ研修に参加して

花と緑の銀行 氷見支店

菟田地方銀行グリーンキーパー 寺井悦子

海に面した国道沿いに地域の花壇があります。多くの人が車を走らせながら眺める花壇です。出勤通学時には元気を与え、夕方是一日の疲れを癒してくれる花壇を目指しています。現在は男女合わせて16名のグリーンキーパーでお世話をしていますが、菟田花壇では活動が負担にならず、楽しく参加することを大切にしています。

退職後、地域のグリーンキーパーに誘っていただき、昨年、新任研修を受けました。それまで雑草に負けそうな花壇管理に苦しんでいましたので、今回のステップアップ研修は花壇づくりの知識や技術にふれる良い機会となりました。

研修は地域の花壇づくりと同時進行でしたので、デザインの作成→土づくり→植栽→管理作業→メンテナンス→撤去の知識や具体的な技術など、研修花壇を地域の花壇の教本として、学んだことを地域に持ち帰って伝達しました。この研修は、まるで地域に指導者を得たようでした。

私は2班に属し5名で研修花壇を担当することになりました。テーマを「小人の森」とし、優しく可愛い花壇をイメージしながらスタートしました。地域の課題を踏まえて、安価で管理し易い苗を選んでデザインし、花苗を選び構成しました。植えた苗は、コキア、サルビア・ファリナセア、アメリカンブルー、ジニアプロフェュジョン、ポーチュラカの5種類です。2班では研修の心得として育成中のトラブルを宝物と捉え、失敗から学ぼうと話していました。島先生のアドバイスもあり、安心して挑戦できました。

研修は2週間のサイクルで行われ、2週間目に訪れた時には先ず花壇の様子を見ることから始まりました。今年の夏は猛暑で花壇の管理がとても難しく、順調に生育しなかった班が多く見られました。そんな時でも、花がらを摘んで苗の負担を軽くすること、土壤の改善や追肥など活着を促し諦めずに手当てを続けることを学び、作業を続けました。また、去年のこぼれ種を活かすことなど、メンテナンスのポイントも学び、一喜一憂しながら研修は続きました。

気が付けば2班の花壇はジニアプロフェュジョン以外の花がらは摘まなくてもよかったのです。余裕を持ってメンテナンスを行うことが出来ました。花壇の後ろのパンパスグラスが大きく穂を出すころになると、私たちの期待に応えるかのように見応えのある花壇となりました。土づくり、デザイン作成の大切さを改めて実感しました。



2班研修花壇「小人の森」 10/18

今回の研修は地域の花壇づくりにとっても、並行してステップアップとなりました。今年は土壤改良からの花壇づくりとなりました。近年、土づくりをしないまま植栽をしてきた経緯があり、土づくりは花壇づくりの基礎であることを伝えると「こんなにバーク堆肥入れる?」と投入する量の多さに驚きながらも汗を流して作業に当たりました。ふかふかに仕上げた花壇に皆で感動したものです。

研修を重ねていくと受講生の間には、気軽に声を掛け合ったり、それぞれの地域での花壇づくりの近況を話したりしながら、情報を交換することが楽に出来るようになっていました。ステップアップ研修は熱意と意欲を持った人達の集まりなので、苗の増やし方や種の撒き方など、やってみたくなる方法を教えていただきましたので、来年やってみようと思っています。



デザイン研修 4/25



土づくり 4/25



花壇メンテナンス実習



7/11、9/26



現地視察（長野） 10/5



撤去作業 11/7

最終の実習は研修花壇の花苗撤去を行い、次年度のために花壇を整備することでした。長いようであつという間に終わったという感じがします。このメンバーと研修を続けたい名残惜しさと、5か月間携わってきた花壇への愛着で少し複雑な気持ちがします。

研修を終えて花を育てることの喜びを実感しています。ボランティアとしての心得の講義でお聞きした「手入れの整った花壇のある地域では、防犯率が高い」との話は強く心に残っています。これからも安全安心な地域を目指して花壇づくりに関わっていきたいと思います。講師の先生方を始め、職員の皆様には大変お世話になりました。感謝申し上げます。

全国コンクール

「全国花のまちづくりコンクール」で優秀賞受賞

本年の第28回全国花のまちづくりコンクールにおいて、南砺市のイオックス・ヴァルト花の会が「花のまちづくり優秀賞（推進協議会長賞）」を受賞されました。

1 花のまちづくりコンクールの概要

コンクールは全国花のまちづくりコンクール推進協議会が主催して、平成2年の「国際花と緑の博覧会」の開催以降、「花のまちづくり運動」を全国的に普及啓発するために毎年、実施されています。

本年の応募総数は1,667件で、大賞4件、優秀賞10件など80件の受賞があり、10月25日に東京で表彰式が執り行われました。

同コンクールでは富山県から下記の2団体が入賞・入選されました。両団体の日ごろからのご努力に敬意を表します。

花のまちづくり優秀賞：イオックス・ヴァルト企業組合
(南砺市)

花のまちづくり入選：小杉西部保育園（射水市）



写真1 小杉西部保育園 H30.7月

2 イオックス・ヴァルトの活動概要

イオックスアローザ村で、自然を利用したおもてなしがしたいという思いから、平成8年よりコテージ前の傾斜地をいかした花壇づくりに取り組んでいます。



花づくりの仲間たち 9/26

また、年間を通して四季折々の花々を楽しんでいただけるように、市道沿いにアジサイやシャクナゲ(旧福光町の町花)、ゲレンデには地元の保育園児らとキバナコスモスを植栽し、季節ごとに花・華まつりを開催。多くの観光客に自然と花の美しさを楽しんでもらっています。

県花のまちづくりコンクール入賞歴：

H28,30 優秀賞、H23,29 優良賞、H20 奨励賞

なお、イオックスアローザの花壇周辺は、本年7月6日～7日、南砺市で開催されます「第25回全国花のまちづくり南砺大会」の会場の一つとなっています。



写真2 イオックス・ヴァルト コテージ前の花壇 H30.7月
キバナコスモスまつり 9月



五ケみち花壇と共に

花と緑の銀行砺波支店 種田花と緑の推進協議会

種田地方銀行グリーンキーパー 倉田 伸子

私は、砺波市の南に位置する庄川町五ケ（68世帯、207人）の小さな集落にある「五ケみち花壇」で主に活動をしています。田園風景が広がる散居村にあり、県下一を誇る水稻種もみの生産地です。花壇は、県道本町高木出線沿いの歩道脇に6区画からなる全長約150mの花壇です。植栽には五ケみちグループ（自治会、長寿会、女性部、児童母親クラブ等）が総出で携わり、日常は主に10名のグリーンキーパーで維持管理に励んでいます。

平成30年の夏は異常気象であり、暑い日が長く続き、縁石に近い所はアスファルトの照り返しから、摂氏45度近くにもなり、花壇がどうなるか心配しながら、朝晩、祈るような気持ちで、じっくりと時間をかけて水遣り続けました。9月に入りやっと長雨があり、元気を取り戻したその花々は、11月末になっても健気に咲き誇っていました。



私は、平成13年からグリーンキーパーとして、17年間この花壇と関わっていますが、植栽だけではなく、「未来に繋ぐ五ケの子供たち」と題して、子供たちの絵を花壇の中に掲示したり、コシヒカリの稲をバケツ栽培し、秋に「この稲から、何粒の粉が採れるか」というクイズを実施したりして、賞品にスコップと竹ぼうきを用意した年もありました。また、ある年には花壇の中に虫かごをかけ、じっと佇む人形「五ケみち君」を登場させ、「ずっと家に帰らない子がいる!」とか、「一晩で人口が増えた!」など、近所でちょっと話題になった事もありました。そんな遊び心も時々取り入れ、色々の企画を立て仲間と過ごす時間は、掛け替えのない素晴らしく楽しい時間です。

そして、今年も「五ケみち花壇」を「綺麗だねえ!」とわざわざ遠回りして眺めて下さる方々を見かけると、これからも仲間と共に、田園の中の美しい花と緑の環境を長く守り続けて行きたいと思います。



五ケみち花壇 H30県花のまちづくりコンクール（花の道部門）特別賞

報告コーナー

富山県花と緑の祭典2018「第46回花と緑の大会」を開催

- 第46回花と緑の大会を10月25日(木)、県民会館において開催しました。山崎康至副知事(名誉会長代理)はじめ、頭取・グリーンキーパーの皆さん約670名に参加いただきました。
- 大会では、花と緑の功労者表彰(知事表彰 5名1団体、理事長表彰 22名4団体)、県花と緑のコンクール入賞者表彰(8名23団体)が行なわれました。
- 花と緑の講演会では、小杉波留夫氏((株)サカタのタネ)による、①東日本大震災の復興支援の中から、花と緑の役割、②復興支援活動から生まれた「たねダンゴ」という、新しい景観形成技術など、氏の長年の花の種子業務を踏まえた、花と緑への篤い思いを講演いただきました。



頭取・グリーンキーパーの新任研修、ステップアップ研修が終了

○新任研修

- 新任研修の最終講座を11月27日(火)に実施し、91名の方に修了証を交付しました。
- 研修内容 講座4 花壇の病虫害対策と施肥(元農業試験場長 名畑清信)
- 講座5 花のまちづくり活動事例(小矢部市北蟹田地方銀行 頭取 川原俊昭)

○ステップアップ研修

- ・4月中旬から11月下旬にかけ、延べ20講座実施したステップアップ研修が終了しました。
- ・毎回、花壇管理実習を主体に、熱心に受講された31名の方に修了証を交付しました。受講された皆さんの各地域でのご活躍を願うとともに、次年度の本研修への参加をお待ちしています。

2019年度ステップアップ研修の受講生募集は、3月上旬を予定しています。各支店(市町村担当課)までお問い合わせ下さい。

🌸🌻🌼 お知らせコーナー (1月～3月の主なイベント)

🌿 「花とみどり・ふれあいフェア」を開催

- 1 日 時 平成31年3月2日(土) 10:30～17:00 3月3日(日) 10:00～16:00
- 2 場 所 フューチャーシティファボーレ(富山市婦中町下轡田165-1)
- 3 主な内容

(1)花と緑の展示

- ・とやまの花品評会、今話題・県育成のチューリップ、いろいろなスイセン・ツバキ など
- ・花飾り「ツーショットスポット」、ステージ花飾り
- ・コンテナガーデンコンテスト
- ・「わたしの寄せ植え」展 など

(2)花と緑の体験教室

- ・県産花きを楽しむ体験教室 花束づくり、寄せ植え、生け花
- ・花育体験コーナー 県産材遊具、寄せ植え、花束づくり など

(3)その他コーナー

- ・全国花のまちづくり南砺大会PR、市町村イベントPR
- ・展示販売、花の種無料貸出コーナー、お楽しみ抽選会 など

「わたしの寄せ植え」出展募集中

- フェア会場で表彰・展示(2/27～3/3)。
- 申込受付 ～1/25
- 参加費 無料、募集数 30作品程度
- 入賞者へ賞状、副賞を授与
- 詳細は銀行HPをご覧ください。問合せ・申し込みは、緑花推進部まで

🌿 富山県中央植物園

○第6回クリスマスローズ展 2月22日(金)～24日(日)

○第47回富山県蘭まつり大会 3月1日(金)～3日(日)

栽培講習会(2・3日 10:30～12:00、14:00～15:30)

○第15回雪割草富山県大会 3月8日(金)～10日(日) 栽培講習会(9・10日 13:30～15:00)

(詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。)

🌿 県民公園 頼成の森

○自作の竹スキーに乗ろう 1月20日(日) 9:30～12:00 定員 20名、参加費300円

○冬の森の中を探検 2月3日(日) 9:30～13:00 定員 30名、参加費300円

- ・雪中を散策し、冬の動植物を観察、きのこ鍋賞味

(詳細はHPをご覧ください。お申し込み・お問い合わせは県民公園 頼成の森へ。)

○全国花のまちづくり南砺大会のご案内

- ・「全国花のまちづくり地方大会」は、各地方の花のまちづくりの普及・啓発を目的として、日本花の会等の推進協議会が地方自治体と共催し、毎年開催しています。富山県内では、平成8年4月に富山市で開催されており、次年度の南砺大会で25回目となります。

- ・南砺大会の日程等は次の通りです。

日程 2019年7月6日(土)～7日(日)

場所 式典：福野文化創造センターヘリオスホール 交流会：ア・ミューホール

県学会：南砺市内の園芸施設・花壇等



編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-2425
FAX 076-465-5923
<http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
TEL 076-466-4187
FAX 076-465-5923
<http://www.bgtym.org/>

花と緑の銀行だより 210号

発行日 平成31年1月
再生紙を使用しています。

県民公園頼成の森

〒939-1431 砺波市頼成156
TEL 0763-37-1540
FAX 0763-37-1450
<http://www.bgtym.org/ranjiyounomori/>